



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 高田鉄也
編集責任者 高田鉄也
金子健史

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
ホームページ http://www.jamt.or.jp

6月4日~5日

第60回日本医学検査学会

災害復興支援の輪を拡げる学会と位置付け予定どおり開催に向け準備中！

～難局を乗り越え、
復興に向けて～

第 60 回日本医学検査学会長 宮島喜文

1 今学会の特徴

(社)日本臨床衛生検査技師会が主催する第 60 回日本医学検査学会を、平成 23 年 6 月 4 日(土)～5(日)の 2 日間にわたって東京フォーラムで開催します。

開催場所は東京都ですが、学会担当県は(社)長野県臨床衛生検査技師会(以下長臨技)となっています。

学会の企画や運営に関する立案は、長臨技だけでなく隣接する群馬県および山梨県臨床衛生検査技師会をはじめとする、関東甲信地区臨床検査技師会のご支援とご協力をいただき進めてきました。

学会のロゴマークは緑豊かな長野県のイメージと、群馬、山梨をはじめとする多くの技師会の協力によって開催される学会であることをイメージしています。

また、東日本大震災を深刻に受け止め被災されました皆様へこころよりお見舞い申し上げます。

この状況を鑑みて、この 1 カ月の間、日臨技との連絡を密にし、本学会の開催について慎重に検討を進めて参りました。その結果、会員の皆様から寄せられた声をもとに、現在私たちができる社会貢献として、今後も臨床検査を発展させ、国民の求める医療に寄与するためにも、会員の学術の研鑽・資質向上を図ることが必要であると結論に達し、「復興支援学会」と位置づけて、予定どおり開催して参ります。

2 新しい企画やプログラム上の特徴

学会のメインテーマは、「未来に繋がる臨床検査の創出」、サブテーマは「社会への還元を目指して」としました。

第 60 回学会を契機に「学会」の原点に立ち返り、学術活動をすすめる私達の使命や意義を考える学術集会にすることを目標にしています。

臨床検査は日常診療だけでなく健診や

研究など多くの分野で病態解析に活用され、日進月歩で進歩しています。今回の学会ではこの事実を再認識するとともに、次世代に向けて更なる臨床検査の創出を目指し、そして今まで私たちが培ってきた技術・知識を社会に還元する行動の起点となるために参考となる多くの企画を用意しました。

3 復興支援学会としての具体的な取り組み

この大震災により、日韓学生フォーラムの中止や市民公開講座が一部変更になりますが、基本的には既に配布された抄録集のとおり進めています。

また、大震災を受けて特別企画の追加も検討しています。

「東日本大震災復興支援市民公開講座」として、復興支援コンサートや中畑龍俊氏(京都大学 iPS 細胞研究所副所長 特定拠点教授)による「iPS 細胞を用いた今後の医療」、また、作家で自然保護活動家・探検家でもある C. W. ニコル氏による「森からみる未来」を企画しています。

開催期間中には義援金募集活動を実施して参ります。また、市民公開講座に参加される市民の方々からもご懇篤いただくように考えております。

また、従来の豪華・華美な懇親会は取りやめ、イベント抜きの粗餐となりますが、「情報交換会」とさせていただきます、学会の目的の一つである会員の相互交流を図りたいと思います。なお、学会運営全般を通じて、節約できました経費は被災地への義援金にさせていただきますと考えております。

4 長臨技独自で開催するもの紹介

学会前日の 6 月 3 日(金)には長臨技が主催する「行列ができるスキルアップ研修会パート II」を開催します。

一般検査、NST、糖尿病療養指導、微生物検査、POCT、血液、輸血、心電図の 10 講座を開催し、学会参加に合わせて更新認定点数も取得できるよう配慮しました。

「東日本大震災復興支援市民公開講座」では地方独立行政法人長野県立病院機構の協賛を賜り、「森林セラピーと健康」についての紹介もあります。

5 運営上の問題点

発表演題数ならびに参加出展企業数ともに昨年を上回る規模の学会になることが予想されていましたが、震災後の余震や電力不足、原発問題など、不確定な要素を抱えながらの学会運営になります。

質実な学会運営となりますが、「学術研鑽を目的とした学会」として、また、大震災という難局を乗り越え、日本社会・経済の一日でも早い再生を願い、「復興支援の輪を拡げる学会」にしたいと考えております。

発表者をはじめ参加者や展示企業社の皆様のご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

◇ 震災に伴う主たるプログラムの変更について

○ 6月4日(土)13:20～14:50 第3会場(ホールB5(2))

日韓学生フォーラム

⇒ 日韓協定に基づく日韓交流事業が中止となりましたので、本セッションも同様に中止となりました。

○ 6月4日(土)10:42示 A会場(5Fロビー)
海外演題(韓国)

⇒ 日韓交流事業を中止いたしましたので、本セッションも中止となりました。

◇ 6月5日(日)13:10～14:10 第1会場(ホールC)

市民公開講座

⇒ 内容を変更いたします。
詳細は決定次第、当ホームページでご案内致します。

◇ 6月4日(土)18:00～19:30ロイヤルキヤフェテリア

アペリティフパーティー

⇒ 意見交換会として、簡素化した内容で開催致します。



「検査のはなし」(小冊子)作成!

中日新聞と東京新聞へ連載し、好評を得た「検査のはなし」を発刊しました。これは、国民への臨床検査普及啓発事業として市民健康祭などにご利用いただくために、見やすく手軽な小冊子としてまとめました。各都道府県へ見本をお送りしますので、使用などについては、事務局へお問い合わせ下さい。

平成 23 年度 日臨技精度管理調査 締め切り迫る!

平成 23 年度日臨技精度管理調査の受付を行っております。締め切りが迫っております。参加される医療機関は忘れずに期日内に申し込んで下さい。
締め切り 平成 23 年 4 月 28 日(木) 申し込み要領 ⇒ ホームページ

日臨技認定センターからのお知らせ

認定センター中央委員会において、各年度の各種認定取得者をホームページに公開することに決定いたしました。尚、認定番号に続く氏名空欄は、公開を否定された方です。

- ◇ **認定一般検査技師認定資格更新指定講習会 予定**
 - 1 岡山県臨床検査技師会 平成 23 年 5 月 22 日(日) 川崎医療短期大学
 - 2 静岡県臨床検査技師会 平成 23 年 5 月 29 日(日) 浜松医科大学
- ◇ **認定心電検査技師認定資格更新指定講習会 予定**
 - 1 東北臨床検査技師会 平成 23 年 7 月 9 日(土)～10 日(日) 秋田県総合保険センター
- ◇ **平成 23 年度 各認定試験スケジュール決まる**
 - ・認定心電検査技師認定試験 平成 23 年 11 月 20 日(日) 日本教育会館
 - ・認定一般検査技師認定試験 平成 23 年 11 月 27 日(日) 日本青年館
 - ・認定染色体遺伝子検査師認定試験 平成 23 年 11 月 27 日(日) 日臨技会館

平成 23 年度 地区学会開催予定 味覚検査講師紹介

- 開催日程(予定)順
- ◇ 10 月 1 日(土)～2 日(日)
 - ・第 46 回九州地区医学検査学会
 熊本県熊本市 学会長：瀧口 巖
味覚検査講師：
 池田 稔(日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)
 - ◇ 10 月 15 日(土)～16 日(日)
 - ・第 52 回東北地区医学検査学会
 山形県山形市 学会長：我孫子剛宏
味覚検査講師：
 平井良二(日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)
 - ◇ 10 月 22 日(土)～23 日(日)
 - ・第 86 回北海道地区医学検査学会
 北海道帯広市 学会長：高野良二
味覚検査講師：
 池田 稔(日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)
 - ◇ 10 月 22 日(土)～23 日(日)
 - ・第 50 回中部地区医学検査学会
 愛知県名古屋 学会長：松本祐之
味覚検査講師：
 小林正佳(三重大学耳鼻咽喉科)
 - ◇ 10 月 29 日(土)～30 日(日)
 - ・第 48 回関東甲信地区医学検査学会
 群馬県前橋市 学会長：深澤恵治
味覚検査講師：
 山村幸江(東京女子医科大学耳鼻咽喉科)
 - ◇ 10 月 29 日(土)～30 日(日)
 - ・第 51 回近畿地区医学検査学会
 滋賀県大津市 学会長：吉田 孝
味覚検査講師：
 愛場庸雅(大阪市立総合医療センター耳鼻咽喉科)
 - ◇ 11 月 5 日(土)～6 日(日)
 - ・中四国地区医学検査学会
 徳島県徳島市 学会長：永峰康孝
味覚検査講師：
 池田 稔(日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)

※ 尚、嗅覚検査講師については、決定次第ご案内します。



※ 都道府県技師会を通じ、会員復興義援金を集めています。期間は 5 月 31 日までとなっております。